

令和7年度 第3回都市緑化専門部会 会議概要

■日時

令和7年9月8日（月）14時00分～15時15分

■場所

千歳市役所本庁舎 2階庁議室

■出席者

委員出席者：外崎委員（部会長）、竹田委員、津田委員、井溪委員、古幡委員、山根委員、佐々木委員、渡辺委員（計8名）

委員欠席者：なし

事務局：都市整備課長ほか3名

市：都市整備課公園管理係長、公園整備係長

傍聴者：1名（緑化審議会 愛甲会長）

■会議結果

1 開会

2 都市整備課長挨拶

3 議事

(1) 千歳市第2期みどりの基本計画（素案）について

(2) 今後のスケジュール

【決定事項】

- ・千歳市第2期みどりの基本計画（素案）について、概ね事務局案のとおり進めていくことが承認された。
- ・専門部会の意見を踏まえるとともに、今後、市内部及び関係機関への照会を行い、必要に応じ修正やブラッシュアップを図った素案を、次回の千歳市緑化審議会へ報告することとなった。

4 閉会

■会議における意見及び質疑応答等

1 議事(1) 千歳市第2期みどりの基本計画（素案）について

【部会長】

現計画と比較して、イラストや写真が多く見やすい。これまで協議してきた内容もうまくまとめられていると思う。

【委員 A】

内容的には問題ない。できあがった冊子はどこに配布するのか。

【事務局】

市の情報コーナーや図書館など、市の関連計画と並列して設置を予定しているほか、関係機関にも配布する。そのほか、データ版は市のホームページでも閲覧できるようにする予定である。

【委員 A】

市議会へも報告するのか。

【事務局】

9月12日（金）に所管委員会である産業建設常任委員会において、計画素案の報告を行うこととなっている。議員の意見も反映させられるよう、パブリックコメント前に報告する。

【委員 B】

重点施策が3つにまとめられているのが分かりやすくよいと思う。環境や社会情勢が変化しても、計画の推進における見直しが大きな役割を果たすと考える。現状における市民の意識もアンケートなどで分かりやすくまとめられており、現状を踏まえたよい素案になっていると思う。

【委員 C】

よい素案ができたと考えている。自身が対外的に説明する場合、第1期計画から第2期計画にかけて特に大きく変わった部分を教えてもらいたい。

【事務局】

都市公園や公共広場を利活用していくという点が前計画から大きく変わっている。これまでがつくることを重視してきたが、これからはつくったものを多様なニーズに対応しながら利活用し、魅力を向上させていくことが必要と考えている。また、20年前と比べ、情報発信の方法も大きく変わっていることから、SNSなど、様々な媒体を取り入れながら情報発信を強化していければと考えている。

【委員 D】

千歳市の公式LINEに掲載されていたキッチンカーの出店状況や手ごたえはどうか。

【事務局】

問い合わせはありながらも出店まで至っていないケースもあり、当初想定していた件数よりは少ない。実績としては、わたあめの販売、コーヒー等の販売、ローストビーフ丼の販売の3件である。まだあと2か月ほど募集しているので、営業を頑張りたい。

【委員 E】

当初は財団にとって厳しい目標設定があったが、よいところに落ち着いた。目標のとおりに進んでいくとよい。議会への報告は今回が初めてか。

【事務局】

計画を改定することについては1度報告している。

【委員 E】

内容については初めての報告になるが、議会報告後に内容が大きく変わるような指摘をされる可能性はないか。

【事務局】

個別の成果目標を取りやめたことから、大きな指摘はないと想定している。

【委員 F】

資料が分厚いので全ては把握できていないが、現計画に比べ、様式や色、写真やイラストが多く使われており、「みどり」などの単語を漢字から平仮名にしたことでニュアンスも柔らかくなり、全体的に読みやすくなっている。一般の人が読むことを考えると、用語集もできる限りわかりやすい言葉遣いで表現してほしい。

内容については、具体的な目標値が少なく、文言ばかりに見える。この目標を達成するために具体的にどう取り組んでいくのかという部分が見えてこない。実際に住んでいる人は緑のパ

ーセンテージが大きくなってよくわからないので、数字を計上するだけでなく目標を達成するために具体的にどう取り組んでいくのか、納得できる記載があるとよい。

例えば、水害時に広域避難場所である青葉公園に行った場合、避難場所で何かしてもらえるのか、避難場所を指定されただけでは市民としてどう対応していいかがわからない。全てが漠然としているように感じる。

【事務局】

みどりの基本計画は、あくまで緑地の保全や緑化の推進を総合的かつ計画的に行うための方針を示したものであることから、施策を推進するための詳細な具体策については本計画に基づいて決めていくこととなる。

例えば、本計画の中に、公園樹木の維持管理方法を具体的に書くのではなく、本計画に基づいて公園樹木の維持管理方針を策定し、その中で具体的な方法を示しながら実務に活かしていくという流れになる。

また、本計画では、みどりの持つ機能の1つとして、防災のみどりを挙げており、その中で青葉公園は地域防災計画において広域避難場所に指定していることから、日ごろから維持管理し、機能を保持することとしている。避難時における具体の対応については、連携する地域防災計画に記していることから、本計画には記載していない。

(部会終了後、危機管理課へ照会。避難場所については、一時的に避難する場所となることから、避難所のような支援等は想定していない。なお、避難所での支援等については、地域防災計画の別冊参考資料である「千歳市避難所開設・運営マニュアル」に記載している。)

本計画では方針を示すまでに留めておき、取組状況等を緑化審議会へ報告しながら施策を進めていきたいと考えている。

【委員 C】

詳細を記載するのは難しいと思うが、内容に関連する部署や問い合わせ先を記載してはどうか。

【委員 B】

資料編にそのような記載があってもよいと思う。

【事務局】

どのように記載できるか検討する。

【委員 G】

基本理念から重点施策までがつながっていて見やすく、市の方向性がわかる素案になっている。生物多様性や市民を中心に盛り上げようというのが伝わってくるとともに今の時代を反映できていると思う。

【事務局】

資料のボリュームが多いという意見があったが、今後、要点をまとめた概要版も作成する。

2 議事(2) 今後のスケジュールについて

質疑応答なし

3 閉会

【事務局】

次回の緑化審議会は 10 月 24 日(金)の午前 10 時からを予定している。

以上